

逗子の景観まちづくり

瓦版 第六十三号

平成三十一年四月十五日 次号は七月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.lg.jp

『日本でここだけ』

神武寺駅には線路が三本あるのをご存じだろうか。上りホームの柵向こう、イケゴヒルズの金網と



絵：「めずらしい光景」
佐藤 幸真

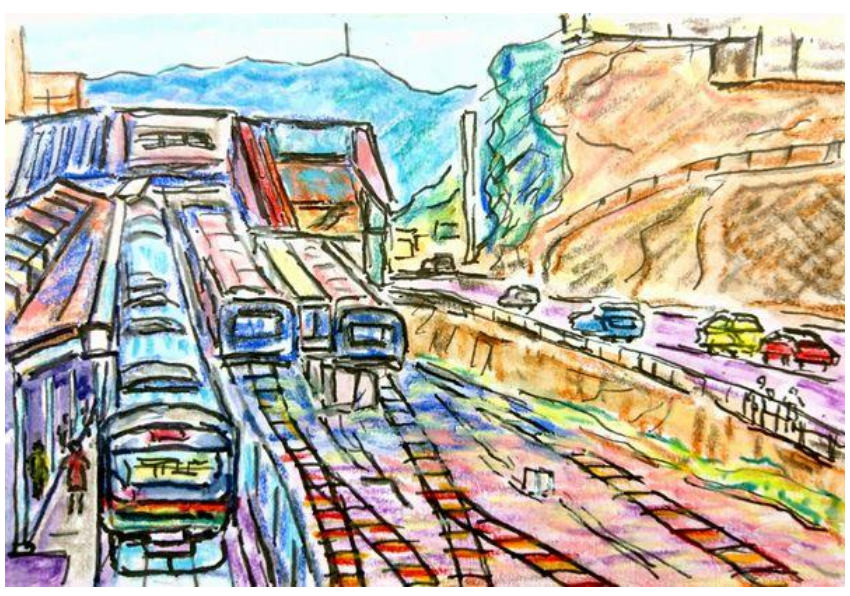
の間にある線路だ。通勤などで京急を利用される人なら、時折その線路に京急以外の電車が停まっている光景を目にされたことがあると思う。線路端の我が家からは、その非日常の光景がよく見えた。

あるとき疑問に思い、鉄道好きの息子に尋ねてみると、八景にある「総合車輛製作所」で作られたJRや京急以外の私鉄新車輛を、逗子線の線路を使用して神武寺駅に仮置きするためのものとのこと。

車輛の到着は深夜。終電が終わり、ホームの照明も落とされた頃合い。信号の変わる音すら聞こえそうな静寂の中、微かに線路を軋ませて、ゆっくりと車輛が近づいてくる。駅手前のトンネルを抜けると右へと進路を変え、第三の線路へ入り、朝を待つ。そして昼頃、山の根のトンネルを通り、逗子駅を経由して然るべき場所へと旅立つのだ。

京急と新幹線の線路幅は同じだが、JR在来線と私鉄各社は京急より狭い。通常では走行できないため、製作所から神武寺駅のトンネル先までレールの間にもう一本レールを敷いた「三線軌条」という特殊な線路になっている。それは日本に四ヶ所のみで、中でもここは車輛運搬の為に使用される唯一の線路だという。

神武寺駅に行ったらトンネルの方や上りホームの



絵：「夕陽に赤く染まる逗子駅跨線橋」
木下 俊延

向こう側を見てみてほしい。そこに「日本でここだけ」がある。

文 佐藤 浩子

逗子の景観を考える vol. 20

「逗子の景観を考える」では、逗子の景観を保全し、はぐぐみ、形成するために市の取り組みを紹介していきます！



景観計画推進プランってなに？

逗子市では、逗子らしい美しいまちを育てるために、2006年（平成18年）に景観法に基づき、良好な景観の形成に関する計画である「逗子市景観計画」を策定しました。

約10年が経過し、これまでの計画運用等について、個別事業を含めた検証を行い、景観計画を具体的に推進させるための計画として2017年（平成29年）3月、「景観計画推進プラン」を策定しました。

公共施設 公共空間	民間施設 商店街	緑化推進	美化活動	普及啓発
景観アクション 道路整備 公園整備 海水浴場運営 など <hr/> 景観重点事業 神武寺トンネル 改良工事 など	景観アクション 条例手続き 屋外広告物 放置自転車対策 など <hr/> 景観重点事業 屋外広告物 許認可経費 など	景観アクション 苗木配布 生垣助成 壁面緑化 など <hr/> 景観重点事業 緑化推進事業	景観アクション アダプト活動 河川一斉清掃 など <hr/> 景観重点事業 河川維持管理事業 など	景観アクション 学校教育 各種講座 まち歩き など <hr/> 景観重点事業 各種講座事業 など

← 景観計画推進プランにより連携 →

「景観計画推進プラン」の5つの景観テーマ(左図)

具体的な施策や取り組みを『景観アクション』とし、またそれに関係する事業を景観重点事業と位置づけ、取り組み内容を把握し、連携することで、景観形成事業の推進を図っていきます。

逗子の景観まちづくりは行政主導だけでなく、市民や民間事業者と協働で推進することが求められています。



公共施設
公共空間



民間施設
商店街



緑化活動



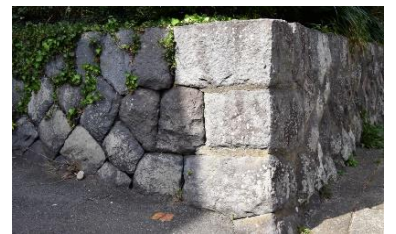
美化活動



普及啓発

逗子景観賞 Vol.6 新宿 T 邸の石垣 (取材：逗子文化の会)

1999年（平成11年）第8回の景観賞を顕彰しているうちのひとつです。海沿いにあった農家を移したという母屋は、移築からもすでに140年。その際にこの石垣がつけられました。話を伺ったかたによると、「大叔父から、『非常に硬質で重量がある伊豆石で、一個一個動かすのも工人の手間がかかった。現時点での江戸城や駿府城と同じ石と工法』と聞いています」とのこと。緻密に組み合わせられた石、石段、そしてなによりコーナーの美しいカーブには、当時の職人の矜持と気概が感じられ、目を見張ります。母屋を改装した際は、梁や柱など昔の面持を残すために宮大工をお願いしたのだそう。静かな住宅街にあって石垣の存在感は健在です。現在の T 邸の周辺はかつて広く T 家が所有しており、ほかにも美しい石垣が現在も残っています。

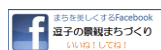


逗子高校生「景観ワークショップ」で制作した模型展示

3月23日、24日に開催された「逗子トモイクフェスティバル」に逗子高校の景観ワークショップ（講師：関東学院大学 日高 仁 准教授）で作成した模型の展示を行いました。



瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市 HP やフェイスブックも見てね！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。